

## 複十字シール運動とは

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。

Double-Barred Cross Seal is dedicated to raising funds for programs to eliminate tuberculosis and other lung diseases and raising awareness of the diseases. It is originated from the world's first Christmas seal issued in Denmark in 1904. The seals are issued in many countries.

### 運動のはじまりと複十字シールについて



デザインは  
画家・絵本作家の  
**安野 光雅**氏です。

複十字シールには、  
健康を願うメッセージが  
込められています。

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

募金いただいた方にシールを差し上げています。  
シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。



複十字シール運動イメージキャラクター  
シールぼうや

## 複十字章

複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

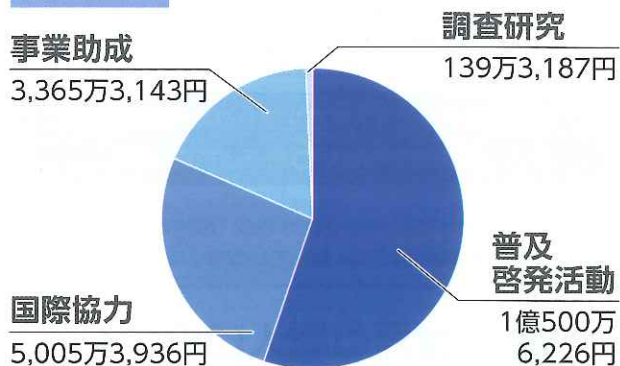


## 平成29年度 募金報告

募金総額 **2億1,429万7,045円**

益金 **1億9,010万6,492円**  
(諸経費除く)

### 使途内訳



### 税の優遇措置・表彰制度

#### 税の優遇措置

募金は、寄付金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

#### 表彰制度

個人50万円、法人100万円の募金をいただいた方に、結核予防会の規定により、式典において結核予防会総裁秋篠宮妃殿下名の感謝状の贈呈がございました。

#### 問い合わせ

複十字シール募金は結核予防会および全国各都道府県の協力団体にて受け付けています。下記まで、お気軽にご相談ください。

【協力団体】公益財団法人 栃木県保健衛生事業団  
〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森 3F  
<http://tochigi-health.or.jp>  
**TEL 028-623-8181**

公益財団法人 結核予防会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-3-12  
<http://www.jatahq.org> 募金推進部 TEL 03-3292-9287



TB Free World 2018  
**結核**をなくす  
ための

# 複十字シール募金

にご協力ください



すべての人を結核から守りたい



主催：公益財団法人 結核予防会

後援：厚生労働省・文部科学省・  
公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

## ご挨拶

結核予防会は、日本で結核がまん延していた昭和14年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立された公益法人です。設立以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けてまいりました。

戦前戦後の結核の高まん延時代から、結核の患者数は減少しておりますが、日本では今でも、1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている重大な感染症です。新しく結核になる患者の6割を70歳以上の高齢者が占め、若年層の患者の半数以上が外国出生者であるなど新たな問題も生じています。そして、世界では薬の効かない多剤耐性結核、結核とHIV/エイズの重複感染が大きな脅威となっています。

結核予防会では、全国の協力団体と連携しながら、結核を中心とした疾病の診断・治療、対策支援、普及啓発、国際協力等を行っています。今後も結核制圧の手を緩めることなく、国内外の活動の強化に努めてまいります。これらの活動は皆様からの貴重なご寄附によって支えられています。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人結核予防会  
理事長 工藤 翔二



# 治療できる病気「結核」で多くの命が失われています

日本

(2016年)

結核を発病する人:

50人/1日

(年間約18,000人)

結核で失われる命:

5人/1日

(年間約1,900人)

患者の高齢化が進んでおり、新たに結核を発病する方のうち**70歳以上**の方が**約6割**を占めています。

若年層の患者では、外国生まれの割合が増加しており、**20歳代**では**約6割**を占めています。

人口に対して結核を発病する率(罹患率)は、人が多く集まる大都市圏で高くなっています。

世界

(2016年)

結核を発病する人:

28,500人/1日

(年間約1,040万人)

結核で失われる命:

4,600人/1日

(年間約170万人)

結核による死亡の**95%**は、低所得国と中所得国で発生しています。

**25万人**の子供たちが、結核で命を落としました。

アジアとアフリカの開発途上国を中心に、保健医療の整備の遅れや貧困から、多くの人が治療できる病気である結核に苦しみ、命を落としています。

世界の総人口の約4分の1が既に結核に感染しています。

## 正しい知識の普及による結核予防のために

全国の協力団体を通じた啓発キャンペーンの実施や各地での講習会、結核についてわかりやすく解説したパンフレット「結核の常識」など教育広報資料の作成、配布等を通じて、一般の皆様へ結核の正しい知識をお伝えしています。



## 人財育成を通じた患者の支援のために



医療従事者への技術指導や、患者さんを支える住民ボランティアの育成、正しい知識の普及啓発などを通じて、結核の適切な診断や治療、支援を受けることができるよう支援を行っています。

ザンビア、ネパール、カンボジア、フィリピン、ミャンマーにおいて募金による活動を行っています。

結核の現状の解決のために、私たちの活動にご協力ください